

徹貫闘争 三里塚 7.19

を起決総へ会集全国 10.11

青年部を先頭に敷地内で闘いぬく

七月十九日、十二時過ぎより、反対同盟青行隊の主催による「二期工事実力阻止、山砂搬入粉砕、木の根1横掘間二期工事道路路阻止、7・19現地総決起集会」が反対同盟萩原進さんの畑で開催され、集会には、時より雨が強く降る中、全国から八百二十人が決集し、動労千葉も青年部を中心に、動労水戸・国労共闘の仲間と共に参加した。



実力闘争こそ勝利を勝ちとる核心だ
(円内は決意を語る青行隊長・宮本衛氏)

実力闘争で勝利する

集会の基調で伊藤さんは、「今後政府・公団が、機動隊の暴力をもつてくるなら、22年間の真価を発揮する実力闘争でたたかう」と決意を述べた。そして、北原事務局長は「今秋、天皇が戦争賛美のために沖繩に行く。許せない。中曽根の軍大化を阻止するのは三里塚闘争だ。この三カ月間たたかひぬき勝利の中で10・11現地集会を開きたい」と発言。これに連帯し、杉本青年部長代行は「三里塚闘争に学び、動労松崎の日の丸を掲げる労働運動を粉砕し、当局による『すべて服従だ』という差別・強制配転、さらに向攻撃にストライキで闘う」ことを表明した。最後、雨の中デモを貫徹した。

国鉄「分割・民営化」反対！ 三里塚二期工事阻止！

全金本山 7.12、15 連続闘争に決起

七月十二日から十五日までの四日間、全金本山労働組合主催の連続闘争に参加した。

市民の前で闘争を展開

全金本山闘争は、現在、本山資本による解雇問題の切り離し一全銭解決の画策を粉砕し、日々闘いぬいている。今回の連続闘争も、七月十五日に地下鉄が開業し、全金本山闘争が市民の目の前で展開されるという新たな状況の中で、本山資本に決断を迫る大闘争となった。

十二日には、全国集会を開催し、以後、連日早朝から門前闘争を行う。会社は、同盟第二組合員に「七時前出社」を強制するなど、社内への闘争拡大に恐怖していた。

最終日の十五日には、権力・機動隊が長谷副委員長を不当逮捕するという全く許せない事態が発生した。全参加者は怒りを爆発させ仙台市内デモ



全金本山闘争17年
目に突入。原則を貫き闘いぬく！



不当逮捕を粉砕し連続闘争を闘いぬく！！

全組台員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！